



緊急：国際協力募金 ハイチ大地震被災者支援



©世界YWCA



©国際ACT

2010年1月12日、マグニチュード7.0の巨大地震がカリブ海の国、ハイチを襲いました。過去200年で最悪と言われるこの地震で約300万人が被災し、死者は20万人に上ると予想されると報道されています。最大被災地の首都ポルトープランスでは、電気・水道・電話など、生活に必要なインフラが崩壊し、推定30万人が路上で避難生活を強いられ、国連事務所を含む、多くの建物が被害を受けています。また地震後、救援物資の配布の遅れなどに一部市民が激怒し治安の悪化や混乱状況にあることが報じられています(2010.1.19現在)。

世界YWCAから、ナタリー・ブリュネ ハイチYWCA会長とタマラ・ゲリン前総幹事たちの無事が確認でき、協力支援体制を検討しているとの連絡がありました。そして、世界YWCAはハイチの人々に連帯と哀悼の意を表明し、緊急支援と長期支援をスタートしました。日本YWCAは、世界YWCAと連絡をとりながら被災者支援募金を開始いたします。

皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

緊急募金期間： 2010年1月20日(水)～3月31日(水)

募金振込先： 郵便振替 00170 - 7 - 23723 「財団法人 日本YWCA」
振込用紙の通信欄に、緊急国際協力募金「ハイチ大地震被災者支援」とお書きください。

問い合わせ先： 日本YWCA 四谷オフィス 〒160-0008 東京都新宿区三栄町6-12-2F
Tel: 03 - 5367 - 1872 Fax: 03 - 5367 - 1873
E-mail: office-japan@ywca.or.jp <http://www.ywca.or.jp>

YWCA(ワイ・ダブリュー・シー・エー / Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む120あまりの国と地域で、約2,500万人の女性たちが活動しています。

現地での支援に関して

1段階:被災現場での緊急救援活動

緊急支援 シェルター開設・確保 搜索と救済・保護 情報のやりとり

2段階:長期的な支援活動

震災後の復興と、国およびコミュニティの長期的な再建には、開発事業のみならず適切なアドボカシー(政策提言)が必要です。

世界YWCAは、復興に際し、以下のことを提言しています。

- * ハイチの人々の尊厳がすべての段階において、いつでも守られ考慮されること
- * 復興政策の立案と実施に、女性と若者が参画できること
- * 女性・若者・低所得世帯がエンパワーされる持続可能な社会の構築において、一人ひとりの尊厳の大切さが広められること
- * 政府・高等教育機関・企業・NGO・地元基盤の団体・女性団体それぞれの、復興における役割が明確にされること
- * 健康・学校・高等教育・水や道路のインフラといった地方の開発、および社会や経済に関して、新しい政策が打ち出されること
- * 被災からの復興と耐震に関する、新しいモデル計画が立案されること
- * (市民や諸関係者による)参加型の復興計画と開発が実現されること
- * 環境に適したエネルギー技術が導入されること

ハイチの人々の一日も早い回復を願って

カリブ海地域のYWCAは世界の人々に、祈りへの参加を呼び掛けています。

- * 余震が止まりますように
- * 乾燥した地に水の恵みがありますように
- * 家族や愛する人を失った人々の心が癒されますように
- * 未だ助けを待っている人たちが今すぐ救われますように
- * 傷を負った人々が適切な処置を受けられますように
- * 助かった人々が支援と物資を得られますように
- * 救済活動をする人々が、適切な装備をもって安全の中で活動できますように
- * 支援活動をする人々に、十分な食料がありますように
- * ポルトープランスが、基盤の強い街として再建され、震災前より良い環境になりますように
- * 神様の支えによって、ハイチの人々が力づけられますように